

進路指導部だより

令和3(2021)年

4月23日(金)

第1号

三戸高校進路指導部

責任と誇りを持って取り組む

話は少し古くなってしまいましたが、2月の中旬に東北地方を中心とした大きめの地震が発生したことを覚えていませんか。記憶が怪しくなってきたので調べてみました。2月13日の土曜日、23時08分頃に発生した、福島県沖を震源地とする**マグニチュード7.1、最大震度6強の地震**でした。土曜の夜にのんびりとテレビを見ていた時、突然不安をおよぼすような地震警報が流れ、まもなく大きな地震がおこったはずですが、幸いにも青森県は震源地から離れていたため、南部町や八戸市で震度4、三戸町では震度3という程度でしたが、福島や仙台の周辺では震度が6とか5を記録し、その後しばらくの間**新幹線がストップ**することになりました。そろそろ**3・11の東日本大震災から10年**になるという時期に、また東北地方を大きな地震が襲ったということと、電信柱がたくさん倒れ、重要なライフラインである新幹線がストップしたということで、全国的に大きな注目を集めたはずですが、このニュースの詳しいことは忘れていても、そんなことがあったことは何となく覚えていませんか。

日本ではたくさん起こる地震の1つなのですが、進路指導部の人間としてちょっと心配になりました。2月といえば、高校3年生にとって非常に重要な、**大学入試などがおこなわれている真っ最中**です。数多くの受験生がコロナに負けず日本中を移動しながら、自分の一生をかけた試験に臨んで必死に戦っているのです。そんな中で、新幹線を使って移動して受験をする予定を立てていて、新幹線が不通になった影響で困った人はたくさんいたはずですが、しかも、**送電線を支える電信柱が倒れ**、新幹線が動けるようになるまで何日かかるか**見通しが立たない**という話でした。これは困ったことになりました。本校の3年生の中にも、2月25日に東京の周辺で第1志望の大学の受験を控えている生徒がいました。新幹線の切符を予約していることは知っていましたが、その**新幹線が動かないことには受験ができません**。どうしたらいいのでしょうか。

新幹線が使えなくても、高速バスで行くとか、飛行機を利用するとか、他に方法がないわけではありません。ただ、**2月25日は国公立大学の前期試験の実施日**で、全国でおそらく何十万人もの受験生が移動することになるはずですが、その全員が東北地方と関係のあるわけではありませんが、東北新幹線が使えないのは悪影響が大きいので、そういう事態は何としても避けたいところです。しかもニュースでは、**復旧するのはいつになるのか分からない**と伝えています。心配でたまりません。でも、私には何故か大丈夫だろう、テストには間に合って復旧するだろうという思いがありました。いや、復旧させてくれるに違いないという期待かも知れません。

当時小学生だったみんなは覚えていないかも知れませんが、東日本大震災の時、東北地方ではガソリンや灯油などが不足してみんなが大変な思いをしました。3月とはいえ、**多くの人が寒い中で震えていた**のです。地震や津波で道路や線路なども今よりもはるかに大きな被害を受け、不通区間が多くて簡単には石油を運べない状況の中で、遠回りにはなるけれども何とか使える道路や鉄道を利用して、東北地方の各地に石油を運んでくれたそうです。このことはずっと後になってから知った話ですが、**自分の仕事に誇りを持っている多くの人の協力**によって、貴重な石油が運ばれたことは忘れません。今回だって、高校3年生の運命がかかっている大切なテストですから、裏付けはないのですが、**きっと間に合わせてくれるだろう**という期待感があったわけです。結果として、何とか10日間の工事で新幹線を動かすことができ、多くの受験生が救われました。

今日も当たり前のように車や電車が走っています。この風景も、それに関わっている**多くの人の努力の上**に成り立っているのです。みんなも社会に出たら、ぜひ**責任と誇りを持って自分の仕事に取り組んでください**。